

【朝日地域】 朝日地域共創プロジェクト支援事業

【事業年度：R5～】

取組の背景や経緯

■取組の背景

朝日地域は人口減少の進行により、自治組織運営など地域維持のための活動も困難になってきており、地域を担う人材確保・育成が急務となっている。そのため、朝日中央地区自治振興会では、地域づくりに若者や女性が積極的に参画できる環境を整えることで地域を支える人材の育成が図られるよう、これまで東北公益文科大学と協働で「朝日地域共創プロジェクト」として取組を進めてきた。

■取組の経緯

令和4年度には地域住民による“語り合い”に地域住民約150名が参加するなど活動が展開されたものの、プロジェクトの認知度は低い状況にある。今後は、デジタル技術を活用し、幅広い世代へ効果的な情報発信を行うことで「朝日地域共創プロジェクト」の活動への住民参加を促すため、事業展開を支えるデジタル人材の育成と持続可能なデジタル支援体制の構築を目指し、取組を開始した。

事業効果と今後の展望

■事業効果

地域内でのデジタル人材育成に向けた取組により、デジタル機器やサービスなど地域で学び合える環境づくりが進んだ。また、地域でのスマホ教室開催を通じて高齢者を中心にデジタル活用を身近に感じてもらう機会を創出するとともに、地域の若者との世代を超えた交流が図られた。

■今後の展望

地域の共助力向上による持続可能なデジタル支援体制を構築することにより、地域課題の解決に取り組む「朝日地域共創プロジェクト」への幅広い世代の住民参加を積極的に促し、地域の多様な人材が活躍できる環境づくりにつなげていく。

事業概要

朝日中央地区自治振興会が主体となり取り組む、地域課題解決に向けたデジタル技術を活用した事業に対して補助金を交付する。

【取組内容】

- 地域住民によるデジタル人材の育成
人材育成講習会の開催、出張スマホ教室での実践研修
- 地域住民を対象にしたスマホ教室の開催
デジタル人材が講師となり、集落や団体等に出向いてのスマホ教室開催



地域デジタル人材の育成講習会



地域での出張スマホ教室の様子